

# スポーツ山形



(公財) 山形県体育協会



スピードスケート  
成年男子2000mリレー

吉田 健太  
(日本大学)

中尾 光杜  
(信州大学)

## スポーツ祭東京2013

### 第68回 国民体育大会スケート競技会



優勝

森永 一帆  
(早稲田大学)

小田 卓朗  
(早稲田大学)

会場：福島県郡山市



# 一年を振り返って

公益財団法人山形県体育協会  
会長 金森義弘



この一年を振り返ってみますと、今年度より本協会が公益財団法人として新たなスタートを切りました。また、その門出の年である本年は、「べにばな国体」の開催から二十年の記念の年でもあるため、べにばな国体二十周年記念事業「山形のスポーツ躍進を目指して」を三回に分けて開催し、各方面より好評をいただきました。

また、国民体育大会に先駆けて行われた全国高等学校総合体育大会では、本県過去最高の十種目で優勝を果たし、第六十七回国民体育大会では、優勝七種目を含めた入賞数は六十九にのぼり、男女総合二十八位と大躍進を遂げました。更に、年が明けた第六十八回国民体育大会の冬季スケート競技会では、べにばな国体を上回る本県史上最高の八十五点を獲得する大健闘を見せ、スキー競技会での四十七点と合わせ、現時点で総合九位の好位置に付けております。本年は本県を主会場として東北総体、更に翌二十六年には冬季スキー競技会が十年振りに本県で開催されることから、まさに「山形のスポーツ躍進を目指して」を体現してくれるものと期待しております。

生涯スポーツでは、いよいよ来年度、山形県スポーツ少年団が設立五十周年を迎えます。このような時代であり、高い理念を有するスポーツ少年団への期待は高まるばかりです。

また、本協会が重点的に取り組む、みんながスポーツに親しめる環境をつくるためには、総合型地域スポーツクラブが中核を担うとの認識の下、引き続き「未設立町の解消」、「設立準備クラブの創設支援」、「既存クラブや県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活性化」に取り組んでまいります。来年度は、前述のとおり本県スポーツ界にとってビッグイベントが続きます。これらを成功させると共に、山形のスポーツが更なる躍進を遂げるよう皆様方には引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 山形県企業スポーツの活力 ~来季に向けて~

### 山形銀行ライヤーズ

#### 山形銀行ライヤーズの活躍

24年度は、山形県出身の新人2名を加え、「想決(想いを決める)」というチームスローガンのもと、「全国4冠」を目指し、選手11名でスタートしました。



「全国4冠」を目標に臨んだシーズンでしたが、山形県代表として『国体』へ出場し活躍するという最大の目標も、国体予選で敗戦するなど思うように結果が出ない時期もありました。敗戦の悔しさをバネにチームを立て直し、9月に行われた『全日本実業団競技大会』など全国大会で2冠を達成し、1月に行われた『オールジャパン』ではWJBL 2位の富士通を相手に敗戦したものの、昨年に引続きベスト16となりました。

また、スポーツ振興を柱とした地域貢献活動として、クリニック(バスケットボール教室)を継続実施し、今シーズンは650名を超える小中学生とバスケットボールを通じて交流を深めることができました。

来シーズンこそは、悲願の4冠を達成すべく、更なるチーム体制の強化と地域貢献に注力し、充実した活動を行って参ります。

最後になりますが、皆様方より賜りましたご支援とご声援に、心より感謝申し上げます。

### パイオニアレッドウィングス

#### パイオニアレッドウィングスの今季の戦いと来季の抱負

バレーボール部長 島津 光男



長らくチームを支えたベテランが抜け現在の選手(18名)は、平均年齢23歳とこれまでに若くなりました。

今季のVプレミアリーグでは善戦するものの、なかなか勝利に結びつきませんでした。岐阜国体で3位、天皇杯・皇后杯大会でも3位に入賞するなど、若い選手が確実に成長しています。

来季はさらに上位を目指して戦い、応援して下さる多くの皆様への期待に応えたいと思います。また、試合以外にもバレーボール教室の開催や各種イベントにも積極的に参加し、県内のバレーボール(スポーツ)の発展普及に努めたいと思います。そしてトップリーグに所属するチームとして、常に誇りと使命感を持ち続けたいと思います。

### モンテディオ山形

#### モンテディオ山形 2013シーズンへ向けて

今シーズンのモンテディオ山形には、新加入選手9名と、経験豊富な新スタッフが加入し、奥野僚右監督が2年目の指揮を執ります。



クラブスローガンは「信～進化・深化・神化」です。クラブ設立15周年の記念の年に、歴史を刻み続けてきたサポーターや仲間との信頼と支えに感謝するとともに、これからも仲間を信じ、突き進むことで、絆が深まり、それが神がかり的な力を発揮し、目標を成し遂げます。

山形県のスポーツを愛する皆さん、是非、スタジアムで共に戦い選手達へ熱いご声援をよろしく願っています。そして喜びを共有し、みんなで「J1への復帰」を果たしましょう。



#### モンテディオ山形 2013リボンマグネット 募金活動展開中

1口1,000円以上を募金頂いた方に、2013リボンマグネットを進呈!



15周年ロゴ

# 第68回国民体育大会冬季大会成績

男女総合成績 9位 (132点)

- スケート・アイスホッケー競技会 男女総合12位 (85点)
- スキー競技 男女総合7位 (47点)



▲少年男子1,000m ウィリアムソン師円



▲少年男子2,000mリレー 高石 悠斗(右)・青山 航大



▲少年男子500m 坂本 永吉

▼アルペン大回転少年男子 小原 健汰



▲成年男子500m 中尾 光杜

写真提供  
山形新聞社

## ◆冬季国体スキー・スケート県勢の入賞者

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属
1位	スケート(スピード)	成年男子	2,000mR	小田 卓朗・森永 一帆 吉田 健太・中尾 光杜	早稲田大学・早稲田大学 日本大学・信州大学
3位	スケート(スピード)	少年男子	500m	坂本 永吉	山形中央高校3年
	スケート(スピード)	成年男子	500m	中尾 光杜	信州大学1年
	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	ウィリアムソン師円	山形中央高校2年
	スケート(スピード)	少年男子	2,000mR	坂本 永吉・高石 悠斗 青山 航大・ウィリアムソン師円	山形中央高校
4位	スキー	少年男子	ジャイアントスラローム	小原 健汰	日大山形高校3年
	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	森永 一帆	早稲田大学4年
	スケート(スピード)	少年男子	10,000m	一戸誠太郎	山形中央高校2年
	スケート(スピード)	成年男子	1,000m	中尾 光杜	信州大学1年
	スケート(スピード)	少年男子	5,000m	一戸誠太郎	山形中央高校2年
	スキー	成年男子A	ジャイアントスラローム	深瀬 和志	法政大学1年
	スキー	成年A	スペシャルジャンプ	佐々木悠兵	日本空調サービス
5位	スキー	少年女子	ジャイアントスラローム	上野世玲奈	日大山形高校3年
	スケート(スピード)	少年男子	10,000m	青山 航大	山形中央高校2年
	スキー	成年女子A	クロスカントリー	矢口小百合	山形県体育協会
6位	スキー	成年男子B	ジャイアントスラローム	山科 博史	丸光建設工業
	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	小田 卓朗	早稲田大学2年
	スキー	女子	フリーリレー	斎藤 里穂・溝越 綾 矢口小百合・大丸 芽美	山形県選抜
7位	スキー	成年男子	フリーリレー	杉沼 聖平・三浦 史敬 鈴木 貴弘・高橋 哲也	山形県選抜
	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	ウィリアムソン師円	山形中央高校2年
	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	坂本 永吉	山形中央高校3年
8位	スケート(スピード)	成年男子	1,000m	小田 卓朗	早稲田大学2年
	スキー	少年男子	フリーリレー	柴崎 俊輔・藤山 響 阿部 謙・下山 大輔	山形県選抜



# 体育協会表彰

て県庁講堂で執り行われました。



## 殊勲賞

種目	氏名	所属	主な成績	優勝
スピードスケート	山形県		第68回国民体育大会冬季大会 スケート競技会 成年男子2000mリレー	優勝
"	一戸誠太郎	県立山形中央高校2年	ジュニアワールドカップスピードスケート 第1戦 男子3000m 第4位	第6位
"			マスターズ ジュニアワールドカップスピードスケート 第2戦 男子3000m	第8位
"			ジャパンカップスピードスケート競技会 第2戦 男子3000m	優勝
"			第81回全日本スピードスケート選手権大会 男子1000m	優勝
"	ウィリアムソン師岡	県立山形中央高校2年	ジャパンカップスピードスケート競技会 第3戦 男子3000m	優勝
"		山形県立山形中央高等学校スケート部	JOCジュニアオリンピックカップ第36回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 男子チームバシユート	優勝
スキー	結城 智裕	東海大学3年	コンチネンタルカップ ファーイーストカップ中国大会 男子大回転	優勝
"			第28回全日本学生アルペンチャンピオン大会 男子スーパー複合	優勝
水泳	小関也朱篤	日本体育大学3年	第88回日本学生選手権水泳競技大会 男子100m平泳ぎ	優勝
"	長谷川 鼓	県立鶴岡工業高校1年	平成24年度全国高等学校総合体育大会 水泳競技大会 女子400m自由形(大会新記録)	優勝
"			第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	優勝
"			チャンピオンシップ 200m自由形・800m自由形	
"			アジア選手権大会 800mリレー2位・800m自由形5位・400m自由形4位・200m自由形7位	
"	古林 毬菜	山形市立第六中学校3年	第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 13~14歳女子 200m背泳ぎ	優勝
水球	曲山 紫乃	県水泳連盟	水球ワールドリーグアジア・オセアニアラウンド	第3位
"	近野 洋平	日本体育大学2年	アジアジュニア水球選手権大会	第2位
"			第88回日本学生選手権水泳競技大会 水球競技	優勝
"	齋藤 有寿	県立山形工業高校3年	水球ワールドリーグアジア・オセアニアラウンド	第3位
"			アジアジュニア水球選手権大会	第3位
カヌー	岡崎広太郎	日本体育大学4年	平成24年度日本カヌースプリント選手権大会 カナディアンペア1000m・500m・200m	優勝
"	八矢 千鶴	大正大学3年	平成24年度日本カヌースプリント選手権大会 女子カヤックペア500m	優勝
"	白田 駿	県立谷地高校3年	第67回国民体育大会 カヌー競技 男子カヤックペア200m・500m	優勝
"			平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝
"	眞壁 優	県立谷地高校3年	第67回国民体育大会 カヌー競技 男子カヤックペア200m・500m	優勝
"			平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝
"	古澤 康太	県立谷地高校2年	第67回国民体育大会 カヌー競技 男子カヤックシングル 200m	優勝
"		山形県立谷地高等学校男子カヌー部	平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックフォア200m・500m	優勝
"	早坂 枝里	県立谷地高校3年	平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 女子カヤックペア200m・500m	優勝
"	斉藤 光里	県立谷地高校3年	平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 女子カヤックペア200m・500m	優勝
"		山形県立谷地高等学校女子カヌー部	第67回国民体育大会 カヌー競技 女子カヤックフォア500m	優勝
"			平成24年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 女子カヤックフォア200m・500m	優勝
"		西川町立西川中学校男子カヌー部	JOCジュニアオリンピックカップ 平成24年度全国中学生カヌー大会 男子 カヤックフォア500m	優勝
陸上	田中 幸	県スポーツ振興21世紀協会	2012アジアクロスカントリー選手権大会 シニア女子 8 km	第8位
"	江口 悠貴	私立九里学園高校3年	平成24年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会 男子110mH	優勝
"	山木 伝説	私立九里学園高校2年	第6回日本ユース陸上競技選手権大会 男子400m	優勝
"	木伏雄太郎	私立東海大学山形高校2年	第6回日本ユース陸上競技選手権大会 男子800m	優勝
ボクシング	林 国孝	きらやか銀行	第64回全日本社会人アマチュアボクシング選手権大会兼第6回柴田杯 バンタム級	優勝
"	折原 一朗	山形県体育協会	第64回全日本社会人アマチュアボクシング選手権大会兼第6回柴田杯 ミドル級	優勝
"	石川 哲也	最上広城市町村圏事務組合	第64回全日本社会人アマチュアボクシング選手権大会兼第6回柴田杯 ライトヘビー級	優勝
"		山形県社会人ボクシングチーム	第64回全日本社会人アマチュアボクシング選手権大会兼第6回柴田杯 県別対抗戦	優勝
バレーボール	佐藤 円	パイオニアレッドウィングス	第16回アジアジュニア女子選手権大会	第3位
"	高橋健太郎	私立米沢中央高校3年	第9回アジアユース男子バレーボール選手権大会	第3位
バスケットボール	佐藤 綾香	山形大学3年	第34回ウィリアム・ジョーンズカップ	第3位
"	加藤 臨	山形市立商業高校3年	第21回FIBAアジアU-18女子バスケットボール選手権大会	第2位
"		山形銀行ライヤーズ	平成24年度全日本実業団バスケットボール競技大会	優勝
"			第8回全日本社会人バスケットボール選手権大会	優勝
レスリング	鶴巻 宰	自衛隊体育学校	第67回国民体育大会 レスリング競技 成年グレコローマンスタイル84kg級	優勝
"	須藤 学	山形市役所	第29回全国社会人オープンレスリング選手権大会 フリースタイル55kg級	優勝
ウエイトリフティング	三田村和真	(有)イサワ工業	第72回全日本ウエイトリフティング選手権大会 69kg級 クリーン&ジャーク競技	優勝
ハンドボール	安井 真也	日本体育大学4年	第55回全日本学生ハンドボール選手権大会	優勝
"	藤田 涼平	日本体育大学2年	第55回全日本学生ハンドボール選手権大会	優勝
"	藤 勢流	県立北村山高校3年	第5回男子ユースアジア選手権大会	第2位
卓球	八木橋 優	私立鶴岡東高校3年	2012ベトナムゴールデンラケット大会 団体 第3位 シングルス 第5位	
剣道	佐久間陽子	県立左沢高校教諭	第15回世界剣道選手権大会 女子個人・団体	優勝
トランポリン	忠鉢 怜香	私立山形城北高校1年	第10回全日本ダブルミニトランポリン競技選手権大会 団体競技 女子の部	優勝
"			個人競技 17歳以上女子の部 優勝 オープン女子の部 優勝(最優秀選手賞)	
"	三浦 雪乃	山形市立第一中学校2年	第10回全日本ダブルミニトランポリン競技選手権大会 団体競技 女子の部	優勝
"			個人競技 13~14歳女子の部 優勝 オープン女子の部 第2位	



# 平成24年度 山形県

表彰式は、山形県スポーツ賞と併せ

## 奨励賞

種目	氏名	所属	主な成績
水 泳	渡会 舜	県立酒田光陵高校 2年	第33回JSCAブロック対抗水泳競技大会IN関東兼オーストラリア クイーンズランド チャンピオンシップ派遣選考会 優勝 15~18歳男子 200mバタフライ
	江本 樹	山形市立第五中学校 3年	第33回JSCAブロック対抗水泳競技大会IN関東兼オーストラリア クイーンズランド チャンピオンシップ派遣選考会 優勝 13~14歳男子 50m背泳ぎ
カ ヌ ー	菊池 憲斗	西川町立西川中学校 2年	JOCジュニアオリンピックカップ 平成24年度全国中学生カヌー大会 中学2年男子 カヤックシングル 優勝
陸 上 体 操 レスリング	田崎 元一	山形陸上競技協会	第33回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M85 80mH・200m 優勝
	金子 茂	山形陸上競技協会	第33回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M50 3000m障害 優勝
	山形RG		第29回全日本社会人女子新体操選手権大会 女子3部 団体総合 優勝
	河合 享	山形市消防署	第60回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズB 60kg級 優勝
	大澤 健夫	日本郵政	第60回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 96kg級 優勝
	太田 優	山形市スポーツ振興事業団	第60回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA 120kg級 優勝
	庄司 薫	日米商事	第12回全日本マスターズ選手権大会 46~50歳の部 63kg級 優勝
	秋葉 浩和	東北エプソン株式会社	第12回全日本マスターズ選手権大会 46~50歳の部 97kg級 優勝
	設楽 卓	山形市役所	第12回全日本マスターズ選手権大会 35~40歳の部 69kg級 優勝
	卓 球	佐藤 珠希	県立山形聾学校教諭
大宮 弘恵		山形大学附属特別支援学校教諭	第57回全国教職員卓球選手権大会 女子シニアダブルス 優勝
剣 道 トランポリン	山形刑務所		全日本官庁剣道連盟 第44回剣道大会 団体優勝 優勝
	舟越 晴香	上山市立上山小学校 5年	第40回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会 ダブルミニ トランポリン競技 小学校高学年女子の部 優勝
	三浦 乃愛	山形市立第五小学校 3年	第40回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会 ダブルミニ トランポリン競技 小学校低学年女子の部 優勝 第10回全日本ダブルミニトランポリン競技選手権大会 団体競技女子の部 優勝 個人競技10歳以下女子の部 優勝
躰 道	齋藤 元文	県立鶴岡南高校 2年	第31回全国高校生躰道優勝大会 男子個人法形 優勝
	佐藤 緋色	酒田市立第六中学校 3年	第34回全国少年少女躰道優勝大会 女子実戦 中学生の部 優勝
	浅井 優希	酒田市立南平田小学校 6年	第34回全国少年少女躰道優勝大会 女子法形 小学高学年の部 優勝

## 平成24年度 スポーツ功労者 (県体協関係)

### ◆山形県体育協会表彰

#### ◇功労賞 (市町村体協・競技団体推薦)

齋藤 武司 (上山市) 工藤 勝美 (中山町) 長井 健二 (水 泳) 奥山 孝雄 (サッカー) 秋久保 孝 (陸上競技)  
 佐藤喜代志 (バレーボール) 鈴木 朝夫 (バスケットボール) 孫田 淳 (ソフトテニス) 高橋 浩一 (卓 球) 佐藤 数雄 (野 球)  
 小口 修 (ソフトボール) 伊藤みち子 (バドミントン) 下山 弘喜 (剣 道) 竹田 憲作 (山 岳) 中山 脩助 (武術太極拳)

#### ◇功労賞・ライオンズスポーツ賞 (競技団体推薦)

木村 文浩 (カヌー) 橋本 佳久 (カヌー) 福島 雅人 (バスケットボール)

#### ◇特別賞

佐久間陽子 第15回世界剣道選手権大会女子個人・団体優勝

世界剣道選手権において、女子個人、団体優勝の両タイトルを獲得し、『攻撃剣道』と称する巧みなスタイルを貫き世界の頂点に立った。「山形県剣道」の強さを国内外に発信できた功績は大きく、本県剣道の競技力向上の指針として、また県内スポーツ界全体の発展に大いに貢献するものと期待されている。

### ◆山形県スポーツ少年団表彰

#### ◇功労者

折笠 満 (中山町) 早川 勤也 (寒河江市) 阿部 哲 (朝日町) 石塚 清 (尾花沢市) 佐藤 繁 (戸沢村)  
 高野 祐次 (南陽市) 岡田 明 (白鷹町) 村田 茂 (鶴岡市) 横山 修 (庄内町) 佐藤 俊次 (酒田市)

#### ◇優良団

中山ソフトテニススポーツ少年団 (中山町) 白岩スポーツ少年団 (寒河江市)  
 大久保野球スポーツ少年団 (村山市) 東根GITTスポーツ少年団 (東根市)  
 日新レッドスターズスポーツ少年団 (新庄市) 宮内柔道スポーツ少年団 (南陽市)  
 飯豊柔道スポーツ少年団 (飯豊町) 湯殿山スポーツ少年団 (鶴岡市)  
 余目一小三錬道場スポーツ少年団 (庄内町) 南平田秋真館スポーツ少年団 (酒田市)



## クラブ通

### 地域に根づいたスポーツクラブ

NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ  
クラブマネジャー 佐久間 秀 晴

平成十六年十月に尾花沢スポーツクラブとして尾花沢市に設立され、平成二十二年十二月に特定非営利活動法人として認証を受け、現在のNPO法人尾花沢総合スポーツクラブとして活動しております。

設立当初の会員数は、一七二名でした。現在六〇〇名の方々が会員として活動しております。当時は、スクール部門・サークル部門とに分かれて活動してきました。現在は、新たな種目やメンバーを開拓すべく、全てを教室として子どもから高齢者まで皆が楽しく参加できる内容を提供し、サークルのみなさんに対しても会員として施設を有効活用していただけるサービスを提供しています。

また、イベント開催にも力を入れ、春と秋に開催する「ウォークラリー大会」では、商店街や協賛店と協働し、地域の活性化(?)に一役かっていると自負しております。さらには、「雪の尾花沢」の「雪」を活用した「雪遊び体験」「アルペンスキー教室」「スノーフェスタ」などの地域に根付いた活動も好評で年々参加者が増えています。

そして、文科省の委託事業を受け、市内小学校の体育活動の支援も行っているところ です。

今後とも、明るく元気なまちづくりに貢献できるよう頑張っております。



## 市町村体育協会だより

### 「町民皆スポーツ」を合い言葉に

白鷹町体育協会  
会長 鈴木 雅 明

本協会は、昭和三十年六月に創設された。昭和二十九年十月の町村合併により白鷹町が誕生した翌年の創設である。以来、三十周年並びに五十周年のメモリアル記念の節目を経ながら、平成二十六年、創立六十周年を迎える。歴代の会長のリーダーシップと先達諸兄の情熱と努力のお陰で生涯スポーツの普及を図ってきた実践事実は、誇ることができる本協会の歴史と実績であることを嬉しく思う。

「町民一人、一学習、一スポーツ、一活動」の町生涯学習実践スローガンを受け、競技スポーツ、軽スポーツ、レクリエーションスポーツ、ニュースポーツ等の振興・拡大を願いながら、町民皆での連携と理解・協力に支えられ本年度二十団体と町内六地区体育振興会が加盟し、今日まで「町民皆スポーツ」の意識拡大と普及・実践に努め、町民の一層の健康と体力づくりを目指している。

本年度は、総合型地域スポーツクラブ『ゆめスポしらたかRO\*KU』の活動三年目である。事務局の整備を図りながら活動の充実・拡大を目指しての取り組みと今後に大きな期待を寄せている。

また、町と連携して毎年県、東北、国レベルの諸大会で活躍が顕著な選手や本協会活動に顕著な実績・功績を示した仲間を顕彰している。本年度は二十六名と一団体、多くの仲間の見事な頑張りを表彰できたことは嬉しい限りである。



## 公認スポーツ指導者ノート

### 公認スポーツ指導員になって

スポーツ少年団認定育成員(八向スポーツ少年団)

ジュニアスポーツ指導員 柏倉政男



私が指導者になったときっかけは、三人の子供達が、小学生の時にミニバスケットボールのスポーツ少年団に入団したことでした。最初は子供達とスポーツを通して一緒に楽しめたいとの思いでした。

軽い気持ちで子供達とのふれあいから始まり、その時は自分が公認スポーツ指導員になるとは思っていませんでした。また、最初は指導方法も分からず、私が子供達から教わる事も沢山ありました。チームワーク、忍耐力、子供達には無限の力があること。私はこれからこの子供たちの持っている力を引き出してやりたいと、強く思いました。

私は最近のスポーツでは、あまりにも勝敗にこだわりすぎるところが有ると思います。

試合をしたら勝ちたいと思うのは当然ですが、私はみんなが楽しくスポーツでき、さらに長く続けられれば良いと思います。私事ですが、孫二人がスポーツ少年団に入り楽しくミニバスケットボールをしています。大変嬉しく思います。また、息子達が指導者として受け継いでほしいと思います。最近は少子化により、試合に出られる人数を確保するのも大変な状況になりつつあることが一番の悩みの種です。



## 人物紹介

### 争わざる武道

合気道鶴岡道場 加藤孝



昭和二十六年生、庄内町在住。昭和四十五年、大学入学して合気道と出会う。昭和四十四年、山形県支部が山形市に開設される。山形県合気道の産みの親、育ての親であり、開祖植芝先生の直弟子、故白田林二郎先生にお会いしたことが私の合気道の始まりである。

「合気道とは、読んで字の如し、氣を合わせる道、心と心を結ぶ道、和合の道である。」「世界が平和でありますように、世界人類が愛の氣で結ばれますように。」と常々おっしゃられた。合気道は争わざる武道であり、他人と力づくで優劣を競わないため、試合は行わない。お互いを尊重するという姿勢を貫く合気道は命の大切さが問われる現代に相応しい武道と言える。それ故、老若男女にも安易にでき、還暦を過ぎた私でもまだまだ現役である。

山形県合気道は、米国、台湾、フランス、タイの国々と交流があり、私は昨年、グアムへ峰岸睦子師範(七十二歳)四十周年記念行事に、船越県連盟会長と共に参加した。このように世界の人々と交流でき、合気道を続けて来られたのも家族の協力があったことで、合気道は感謝と折りの武道でもある。

今年の夏には、全東北合気道講習会が羽黒山で禊を主として開催される。今その構想を練っているところである。



## 競技団体 ニュース

### 山形県ハンドボール協会

事務局長 佐藤明彦



本協会は昭和三十年に設立後、四十七インターハイ開催を期に施設等の環境や競技力の整備を推進し、平成四年べにはな国体での総合優勝と輝かしい成績を収めることができました。

その後ポスト国体事業として、国体開催自治体の協力のもと、チェリーカップ東日本小学生大会や東北ブロック小学生大会の開催などジュニア強化育成を主に推進してきました。

しかし、二〇〇〇年の富山国体に成年・少年男子出場以降、本国体に出場できないという悔しい状況が続いているとともに、全国大会で活躍できるような選手育成が進んでおりませんでした。

そのなか、近年日本リーグでプレーしている武田選手(東根工高一国士館大)大同特殊鋼)が全日本男子主将として活躍し、また今年度は藤選手(北村山高三年)が第五回男子アジアユース選手権に日本代表に選出され主力選手として活躍し、今年ハンガリーで開催される世界ユース選手権の出場権を獲得いたしました。

この機運を後退しないように協会自体の組織強化や選手育成プログラムの構築とともに、県体協がジュニア強化事業として展開しているドリームキッズで、ハンドボールに興味がある子どもたちが多くことから、本協会としても連携し子ども達が一人でも多くハンドボールができる環境整備をすすめることが今後の課題だと思っております。



あの感動をもつ一度



吉田 進

平成二十四年度でスポーツ指導員として十年間活動させていただきました。その間全国都道府県対抗女子駅伝

競走大会で第二十二回大会第四位、翌年第二十三回大会第三位という感動のシーンに監督という立場で立ち会うことができました。これもそれ以前の大会から、しっかりと積み上げてこられたものがあつたからこそ成し得たことです。今年も含め過去十年間で入賞二回、十位台四回、二十位台前半二回、三十位台前半二回、平均すると十七位相当になります。これは、県内の中学・高校生のレベルアップが図られた一因です。長年強化の一環として開催されている県内市町村対抗の県女子駅伝や蔵王坊平ジュニア駅伝の取り組みが底辺拡大や選手育成に大きく貢献して頂いております。しかし、今後少子化が更に加速する中で選手確保が急務となります。中・長期的な視点から、早い段階で走ることに興味関心を持てるような陸上教室や冬季



間の練習、年代別に合った練習方法等を共通理解の中で一貫した指導体制作りも必要だと思えます。近い将来再びあの感動を県民の皆さんと一緒に味わうために、入賞が「夢ではなく、目標」として捉え、県を挙げて取り組んで行きましょう。

スポーツ指導員からのメッセージ



山口喜代美

スポーツライフマネージメントの確立

「競技者のための食事の在り方」このテーマで初めて講習会を行ったのは、私が山形に転居した平成八年十月、山形中央高校野球部の保護者会であった。筋肉づくりのメカニズムや栄養素の役割？どこから説明を始めたらいのだろう？私のスポーツ栄養の原点であった。十六年後の現在は、三食の栄養価バランスと脂質を控えた食方は常識となった。更に補食として栄養素・タイミング・分量を考慮した摂取などが競技力向上に繁栄されるのか、またトレーニング内容にあわせた食事やサプリメントの摂り方など、アスリートたちからは、正しい知識を求められている。これはスポーツライフマネージメント（運動・栄養・休養）の確立である。重要性は十年前には提唱されている。今後は知識と医学的裏づけに基づいた実践や活動の更なるQRTの高さが、スポーツ

本来の「質」や「向上」に繋がると信じている。スポーツ指導員として、平成の子どもたちの心身の健康管理や競技力向上を目指しサポートを行う時、指導者自身の変革・変心も賢明であると

感じる。



東京圏東部でアパートを借りる際は当社へどうぞ!

東京駅から40分、総武線東船橋駅前  
千葉県船橋市・創業35年

(有)東船橋不動産

大江町出身  
鈴木 隆

TEL 047-424-7200 <http://www.chintai-center.co.jp> 水・木曜定休



みんなの笑顔で  
ガッチリ  
安心!

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険

スポーツ安全協会 検索 インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 **スポーツ安全協会**  
山形県支部  
(山形県体育協会内)

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号 TEL 023-642-8321 受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。  
(引換事務保険会社)  
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公積第2部公積第1課  
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)  
(共同引換保険会社(平成25年4月予定))  
おひかり生命保険 東海火災 協栄火災 大同火災 東京海上日動  
日新火災 日本興業保険 富士火災 三井住友海上  
平成25年1月作成 12-T-09679